

## サステナビリティ戦略01 | 価値創造プロセス

### 長期トレンド

# GX

#### グリーントランスフォーメーション

温室効果ガスを発生させない再生可能エネルギーへの移行をはじめとした先進的な取り組みを通じて、産業構造や社会経済を変革し、経済活動を停滞させることなく脱炭素社会を実現することで、企業や社会のさらなる成長につなげる。

# DX

#### デジタルトランスフォーメーション

激しい社会の変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立する。

### 中期・短期トレンド

#### 環境課題

カーボンニュートラルの進展 + サーキュラーエコノミーの進展 + プラスチック資源循環促進法  
グリーンマテリアル需要の急拡大とサーキュラーエコノミーの急加速

#### 01 電炉増設による鉄スクラップの需要増加

鉄鋼製造プロセスの脱炭素化が求められる中、高炉と比較してCO<sub>2</sub>排出量が1/4の電炉設備の増設が計画され鉄スクラップ需要の増加が見込まれる。

#### 02 電化による非鉄金属・レアメタルの需要増加

再生可能エネルギーおよび電化の促進で蓄電池や電化製品で 사용되는 鉱物資源の再資源化が必要となる。

#### 03 廃プラスチックの高度な資源循環促進

大量に生産・消費・廃棄され社会課題となっている廃プラスチックについては、使用量削減、再資源化による資源循環が求められている。

#### 社会課題

ポストコロナ（非対面・非接触の生活&ビジネススタイル） + 米中貿易摩擦 + 就労人口の減少

マテリアリティの  
特定

01 サプライチェーンにおけるグリーンマテリアルの生産と供給

02 経営活動の全てのプロセスでGX、DXの推進

03 就労形態の多様性推進と省人化・無人化の促進

サステナビリティ戦略01 | 価値創造プロセス

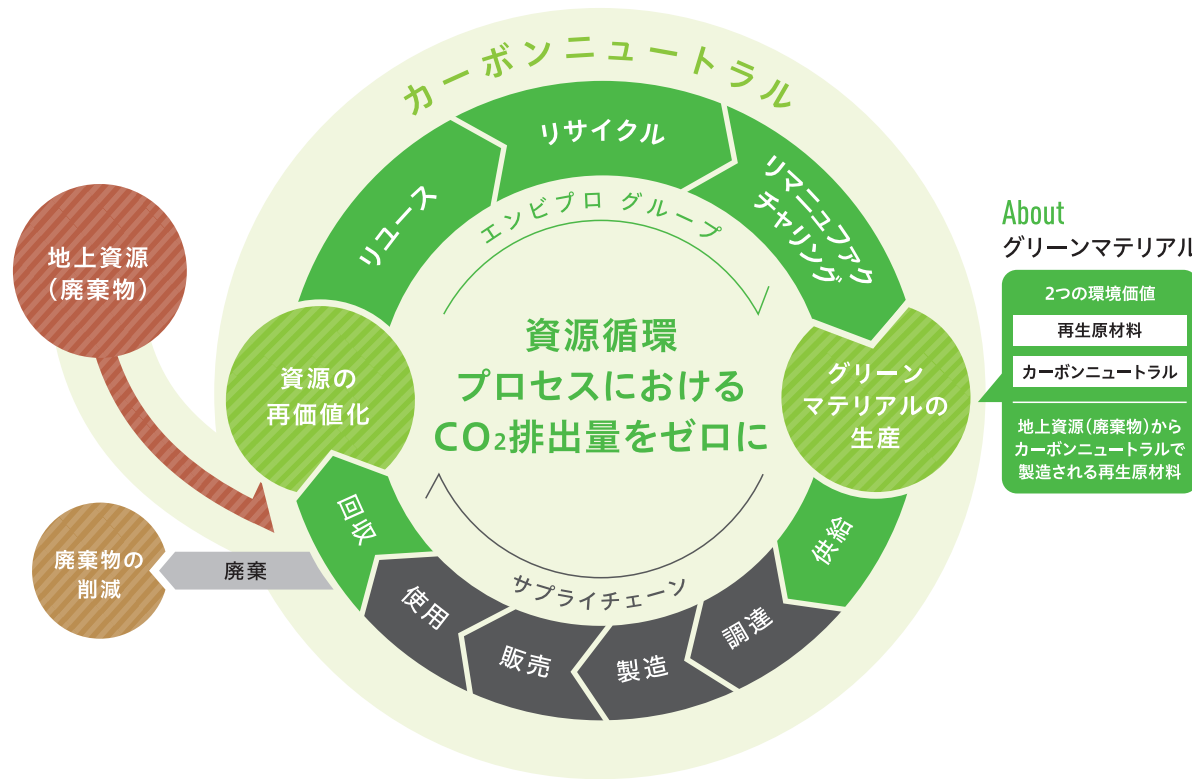
カーボンニュートラルをベースにしたサーキュラーエコノミーモデルの構築で、  
経済的価値、環境的価値、社会的価値の向上を目指す。

エンビプロ グループのサーキュラーエコノミーモデル

エンビプロ グループの  
中期経営計画

低炭素プロセスによる  
地上資源由来の  
素材メーカーに革新  
(QCDC)

Q(品質)C(コスト)D(納期)に加え、  
C(カーボンニュートラル)の要素  
を反映させた高水準の製造プロ  
セスの確立を目指します。



エンビプロ グループの  
基盤

企業理念

- ・技術力
- ・営業力
- ・物流力
- ・回収力
- ・発想力
- ・生産力
- ・販売力

事業活動で実現する未来のあるべき姿

01 経済的価値

02 環境的価値

03 社会的価値

## サステナビリティ戦略02 | SDGsの達成に向けた様々な取り組み

### エンビプロ グループのSDGsの考え方

エンビプロ グループでは、その事業特性と「持続可能社会実現の一翼を担う」というミッションステートメントに整合するSDGsを洗い出し、それらを中心とするSDGsの達成に向けた様々な活動に取り組んでいます。

### すべての取り組みを、すべてのパートナーと共に

SDGsの達成に向けて、グループはもちろんサプライチェーンを構成する企業や行政機関、地域社会、市民との協働を進めていきます。



#### ●パートナーシップ

企業グループや国際イニシアチブへの参加を通して、持続可能な社会の実現に向けたパートナーシップを拡大しています。

- JCLP(日本気候リーダーズ・パートナーシップ)
- RE100
- CDP\*1スコアリングパートナー
- CLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)

\*1 CDP：気候変動対応情報の開示に関する国際イニシアチブ

### 経済への貢献

ECONOMY

- 貧困
- 技術革新



1. 資源循環事業をはじめとする事業活動の効率化と収益性の向上により、社員の収入の増加と生活水準の改善を目指します。



9. (株)エンビプロ・ホールディングスの研究室では、廃リチウムイオン電池からレアメタルであるコバルトおよびニッケルを湿式製錬で、高純度に回収する技術の開発および分析精度向上に取り組んでおり、サーキュラーエコノミーや脱炭素社会の根幹をなす技術の発展に貢献しています。

### 社会への貢献

SOCIETY

- 健康
- 教育
- ジェンダー
- 労働環境
- 平等
- まちづくり



3. 安全や環境基準を満たした工場での適正処理により、土壌汚染および水質汚染を防止しています。また、COVID-19の拡大防止および社員の感染防止の一環として、在宅勤務やフレックスタイム制度などの新しい働き方を推進しています。



4. 社員を対象としたビジネススクールを開催するなど、社員のスキルアップのための様々な研修制度を設けています。



5. 時短正社員制度や在宅勤務などの制度を導入し、子育てや介護中の社員などが最適な働き方を選択できる環境を提供しています。



8. (株)エンビプロ・ホールディングスでは2019年度から新卒採用を開始し、従来から取り組んでいる障がい者雇用と併せて、様々な人の働きがいのある雇用を推進していきます。また、工場での労働災害防止に徹底して取り組み、社員の安全を守っています。



10. 就労移行支援事業や就労継続支援B型事業などを通じて、障がいのある方々が質の高い仕事を継続して行えるよう支援を行っています。



11. 「しんえこプラザあづみ野」では、各家庭で発生した廃棄物や不用品の回収・リサイクルを行うほか、工場において障がい者の雇用を推進しており、リサイクルと雇用を通して地域の活性化と持続可能なまちづくりに貢献しています。

### 環境への貢献

BIOSPHERE

- エネルギー
- 気候変動
- 消費と生産
- 海洋資源



7. 2018年7月に「RE100」<sup>※2</sup>に加盟し、2030年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにする目標を掲げています。各工場で使用する電力を、再生可能エネルギーに切り替えるほか、工場の屋根に太陽光パネルを設置するなど、再生可能エネルギー発電設備の導入にも取り組んでいます。また、東南アジアにPKS(パーム椰子殻)の集荷ヤードを設置し、国際流通を推進しています。今後は木質ペレットなどの扱いを拡大することで、持続可能なバイオマス燃料の供給に貢献していきます。

※2 RE100：100% Renewable Electricityの通称。事業運営に要する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟する国際イニシアチブ



12. 金属スクラップや廃棄物から貴金属などを取り出すリサイクル事業や、再生原材料の製造を推進するリマニュファクチャリング事業を推進することで、限られた資源の循環と廃棄物の削減に貢献しています。



13. 2050年までのカーボンニュートラル達成を目標に掲げ、事業活動からのCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進していきます。また、主力事業であるリサイクル・リマニュファクチャリングを通して、サプライチェーン全体での排出量削減にも貢献していきます。また、2019年5月に「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)による提言」への賛同を表明しました。気候変動が事業に与える機会とリスクを特定・評価し、経営戦略に反映するとともに、適切な情報開示を進めています。



14. 廃プラスチックを選別し、再生ペレットとして再資源化する技術と新たな再生原材料の用途開発を推進することで、プラスチックによる海洋汚染の防止に貢献しています。